



# なかよし苗代っ子

令和7年 11月号  
苗代小学校校長 北野 勝久  
TEL 0761-22-1041  
FAX 0761-22-1059  
e-mail:nosiro-e@kec.hakusan.ed.jp



## 学校をよりよくするために① ～当たり前のことを当たり前にする～

2～6年生の子どもたちに「学校をよくするための〇〇ミッション」というテーマで作文を書いてもらいました。

学校をよくするためのミッションとして多かったものは、「あいさつ」「廊下を歩く」「もくもくそうじ」でした。それ以外にも、たくさんの意見があり、大きく

### 「学校をよくするためには…？」

きまりをまもる

(あたりまえのことを  
あたりまえにする)

みんなが  
なかよくなる

分けると「きまりを守る（当たり前のことを当たり前にする）」ものと「みんながなかよくなる」の2つにまとまりました。

そこで、11月の全校集会では、「当たり前のことを当たり前にする」ということについて話しました。



Googleで【当たり前のことを当たり前にする 小学校】で検索すると、以下のことが出てきます。↓

### あたりまえのことって？

01. ひとの はなしを よく きく
02. あいさつや へんじを する
03. じかんを まもる
04. もちものを せいいする
05. おちついて がくしゅうする
06. ひとや ものに やさしくする
07. そうじや しごとを きちんとする

- ・みだしなみ
- ・しよくじのマナー
- ・しゆくたいをやる
- ・くつをそろえる
- ・ろうかをあるく



挙げられている項目を見てもわかるように、「当たり前のこと」は、子どもたちが学校生活や社会で円滑に過ごすために必要な基本的な行動や態度を指しています。当たり前で簡単なことでも、続けることは簡単ではなく、とても難しいことです。でも、この当たり前の積み重ねが、子どもたちが将来、自立した社会の一員として、よりよい生活や人間関係を築いたり、成長したりしていく

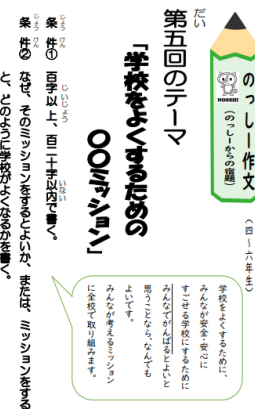
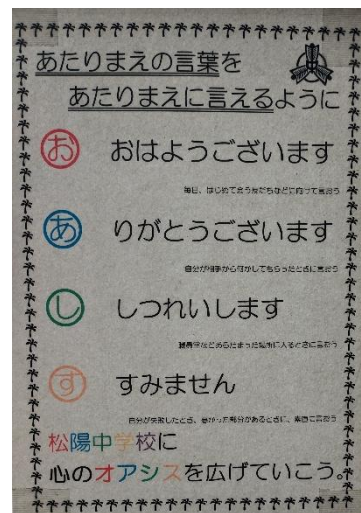
ために非常に重要であると言われています。

先日、松陽中学校に訪問したところ、廊下に右のようなポスターが貼ってありました。→

中学校でも、「当たり前」を大事にしていることを感じました。

「当たり前のこと」は、子どもたちが学校生活を楽しく、安心して送るための基盤であり、自己肯定感を高めるための土台となります。

学校と家庭が連携し、子どもたちが「当たり前のことを当たり前」にできていることを認め、子どもたちの健やかな成長を見守り、支えていきたいと思っています。





## 学校生活から

10月17日、1～5年の秋の遠足が行われました。

様々な施設の見学に加え、友達と一緒に遊んだり、なかよくお弁当を食べたり、楽しく充実した遠足になりました。



### 秋の遠足



### 授業参観・学校保健委員会



11月7日、授業参観と学校保健委員会が行われました。学校保健委員会のテーマは「よい姿勢でパワーアップ!」。森田病院の角先生を講師にお迎えし、簡単なストレッチを交えて、姿勢についての話をお聞きました。

## 金沢自主プラン

10月31日に6年生が金沢自主プランに出かけました。「金沢の歴史や伝統を学び、班で協力し友情を深め合おう」というめあてをもち、その達成のために、外国の方と積極的にふれあう等、どのグループも自分たちで考え行動し充実した自主プランになりました。

(途中で降り出した雨が残念でした…)

金沢自主プランと後期役員

任命式は写真がありません…



NOSSHI

### 後期役員任命式

11月5日、後期児童会役員任命式が行われました。児童会執行部、各委員会委員長・副委員長・書記、学級代表がそれぞれ後期のリーダーとして、堂々と返事をし、各委員長からは、凛とした言動で、全校へのお知らせを伝えました。

### 読み聞かせ



図書ボランティアの方による読み聞かせが行われました。楽しい絵本に、1年生は集中して聞いていました。

### 小中連携あいさつ運動



本校出身の松陽中の生徒があいさつ運動に来ました。一緒になかよくあいさつやおはタッチをする姿がたくさん見られました。



運動会で見つけた友達のよいところをカードに書き、全校児童分を掲示してあります。友達のよさがいっぱい実った「キラキラの木」。来校の際はぜひご覧ください。